

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

平和地区防災訓練を開催しました！

11月10日に平和小学校で「平和地区防災訓練」を開催しました。地区防災訓練は、住民自らが避難所の開設・運営を行う訓練で、各自治会から約200名の方が参加されました。今回の訓練を開催するにあたり、平和地区自治連合会と市が訓練実行委員会を立ち上げ、7月から月1回訓練内容について協議を重ねました。午前8時30分に奈良県内に直下型地震が発生、本市で震度7を記録したという設定で、下三橋分団・井戸野分団が一斉にサイレンを鳴らしました。参加者は、その場で低い体勢で、頭を守り、動かない「シェイクアウト」を行い、その後避難所である平和小学校に向かいました。



1. 訓練内容について

午前9時30分に訓練がスタート、まず避難所の開錠・安全確認を行い、避難場所である体育館へ入場しました。その後、防災倉庫から備蓄品を運び出し、保存食の調理や簡易トイレ・テントの設営、救護スペースへの毛布・薬箱の配備を行い、また避難所運営のルールを決める避難所運営委員会の立ち上げや応急手当訓練、エコノミー症候群防止のための避難所体操などを行いました。消防団による水消火器での消火体験や給水車からの給水体験、携帯トイレの実演には多くの方が関心を持って参加・見学されました。最後に全員で保存食を試食し、訓練は終了となりました。



2. 住民自らが準備にかかわり、運営した訓練

今回の平和地区防災訓練は、地域の防災力の向上を目指して、住民自らが避難所を開設運営してもらう訓練でした。月1回の訓練実行委員会を開催し、会場視察、リハーサルなどを行いました。また、訓練開催に先立ち、7月～9月までの3ヶ月間、防災の基礎知識を記した「平和地区訓練ニュース」の回覧を行い、訓練の成果が地区全体に広がるように努めました。

さらに、この機会に安否確認について、自治会で話し合い取り組んでいただきたい旨お伝えしたところ、すでに取り組まれている自治会の話など積極的な意見交換が行われました。今回の訓練をとおり、地域の結び付きがより強くなり、大きな成果の1つではないかと感じました。



3. 訓練の結果を踏まえたマニュアルづくり

今後はこの訓練の成果を踏まえ、平和地区の市指定避難所の運営マニュアルの作成に取り組み、引き継いでいく予定です。平和地区自治連合会の皆さんには長期間にわたって訓練の準備に携わっていただき、誠にありがとうございました。

**自治会などの防災出前講座依頼も受付中！
少人数でも訪問します。災害対策課までご相談ください。**

このニュースは、災害対策課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます。

[大和郡山防災ニュース](#) [🔍](#) [検索](#)

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください。

[大和郡山市消防団へようこそ](#) [🔍](#) [検索](#)

発行人 市役所災害対策課